

年 月 日

三百七十八

衆議院議長

殿

縣 郡 町村 番地

嗣子 何 某印

## 一四 議員資格ニ關スル報告書

### 第一 審査ヲ爲シタル場合

(一) 西山志澄君資格審査ノ件(第四回議會)  
被告議員西山志澄ハ高知市外三箇所ニ於ケル地所四筆ノ外地租金拾參圓五錢六厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ植木家離退ノ際身附所有トシテ持歸リタリト云フト雖其自己ノ名義ニ書換ヘ登記ヲ經タルハ明治二十六年二月九日ニ在ルヲ以テ右地所ノ地租ハ其當日迄ハ被告ノ納稅資格ニ算入スヘキモノニ非ス又被告ハ明治二十五年八月三十日地租金九圓五拾壹錢五厘ヲ納ムヘキ高知市所在ノ地所ヲ購買シタリト云フト雖被告ハ前ニ即チ同月二十七日長岡郡高須介良兩村所在ノ地所二筆ヲ他人ヘ賣却セルヲ以テ同日ヨリ同月二十九日ニ至ル間ハ納稅資格ニ必要ナル期限ヲ中斷シタルモノトセサルヲ得ス然レトモ右地所二筆ノ賣買ハ高知地方裁判所ノ判決ニ依リ全然解除セラレ且ツ其登記ハ取消サレタルヲ以テ全ク原狀ニ復シ期限ヲ中斷スルニ至ラザリシ故ニ被告西山志澄ハ滿一年以上地租拾五圓以上ヲ納ムヘキ土地ヲ所有シ之ヲ納メ仍引續キ所有シ及ヒ納ムル者ニシテ議員タル資格ニ缺クル所ナキモノトス

(二) 高野孟矩君資格審査ノ件(第十八回(特別)議會)

一四 議員資格ニ關スル報告書

三百七十九

第一 臺灣法院判官ハ衆議院議員選舉法第十五條ノ制限内ニ入ラス  
 第二 高野君ハ當初抗議ヲ爲シ本院並貴族院ニ於テ之ヲ相當ト爲シタルニ拘ラス同君ハ其ノ後ニ至リ自ラ辭表ヲ呈出シ辭任ノ意思ヲ表示シタルノミナラス事實ニ於テモ司法官ト兩立セサル辯護士ノ職ニ從事シタルヲ以テ今日最早臺灣法院判官ノ職ニ在ラサルモノト認ム

(三) 佐竹作太郎君、根津嘉一郎君資格審査ノ件(第二十一回議會)

本件ニ於テハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人トアルハ民法第六百三十二條ニ規定セル請負ト同意義ナルヤ將タ民法規定以外ノ意義ヲ有スルモノナリヤヲ審究スルヲ緊要ナリトス

一 凡ソ公法中特ニ公法ノ語トシテ特有ノ意義ヲ示サスシテ私法中ノ語ヲ引用シタルトキハ其ノ意義ハ私法中ニ用キタルモノト同一ナリト認ムルヲ當然ナリトス

一 請負ナル法語ハ法律上一定ノ意義ヲ有シ即チ民法第六百三十二條中ニ掲ケタル定義ノ通ニシテ他ニ公法中別段ノ定義ヲ有セシメタル例ナシ

一 衆議院議員選舉法ヲ通覽スルニ民法刑法商法及破産法ノ法語ヲ用キタル場合少カラズ殊ニ第二章選舉人被選舉人ノ資格ニ關スル規定ニ於テ然リトス然ルニ此ノ數多ノ法語ハ孰レモ其ノ關係私法ノ定義ナルニ獨リ請負ナル法語ノミ民法商法ノ定義ト異ナル意義ヲ有スルモノト解

釋スルハ失當ナリ

釋スルハ失當ナリ

一 商法第二百六十四條ニ商行爲ヲ列舉シタル第三ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トアリ其ノ第五ニ作業又ハ勞務ノ請負トアリテ電氣ノ供給ハ請負ナル法律行爲ト明カニ區別セラル

右ノ諸點ヲ綜合スルニ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ請負ナル法語ハ民法及商法ニ規定スル所ト同一意義ヲ有スルモノト斷定セサルヲ得ス

本件東京電燈株式會社ノ營業ハ電流ヲ供給スルモノニシテ民法ノ所謂或仕事ノ完成ヲ約シ其ノ仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ受クルモノニ非ス況ヤ該株式會社ハ其ノ電流ヲ公衆一般ニ供給スルヲ以テ目的トスルモノニシテ偶々政府ノ需要ニ應スルニ過キサレハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス者ニ非サルオヤ

依テ東京電燈株式會社ノ重役タル被告議員佐竹作太郎同根津嘉一郎ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス會社ノ重役ニ非サルヲ以テ衆議院議員ノ資格ニ於テ缺クル所ナキモノト斷定スル所以ナリ

(四) 田坂初太郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

議員田坂初太郎君ハ明治四十一年十二月十九日廣島地方裁判所尾道支部ニ於テ私書變造行使詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス

右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(五) 高野孟矩君資格審査ノ件(第二十五回議會)

議員高野孟矩君ハ明治四十一年十二月二十六日東京地方裁判所第一刑事部ニ於テ詐欺取財被告事件ニ付重禁錮一年六月ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判確定セサルモノナレトモ衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ該當シ被選舉權ヲ有セサルモノトス

右ノ事實及理由ニ依リ議院法第七十七條ニ則リ退職者トスルヲ相當トス

(六) 上出長次郎君資格審査ノ件(第二十五回議會)

上出長次郎君ハ明治四十一年七月三十日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモノトシテ金澤地方裁判所ニ於テ輕禁錮四月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス名古屋控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ同法第一百一條其ノ他ノ條文ニ鑑ミ選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ上出長次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

(七) 中村舜次郎君資格審査ノ件(第二十六回議會)

中村舜次郎君ハ明治四十二年十一月二十二日衆議院議員選舉法第八十七條第一號ニ該當スルモ

ノトシテ横濱地方裁判所ニ於テ輕禁錮一月ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルモ同氏ハ之ニ服セス東京控訴院ニ控訴シ其ノ裁判ハ未タ確定セサルモノナリ

衆議院議員選舉法第十一條第四號ニ所謂禁錮ノ刑ナルモノハ衆議院議員選舉法以外ノ法令ニ定メタル禁錮ノ刑ヲ指定スルモノト解スルヲ相當トス故ニ中村舜次郎君ハ退職者トスヘキモノニ非ス

第二 審査ヲ爲ササリシ場合

(一) 二田是儀君資格審査ノ件(第一回議會)

第一 議員ノ資格ハ議員ノ「クオリフヒケーション」即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ稱スルモノニシテ議員選舉ノ手續ヲ包含スルモノニアラサルコトハ政府ニ於テ憲法成文ト同時ニ公ニセラレタル英譯憲法中本條ノ資格ナル文字ニ「クオリフヒケーション」ナル英語ヲ用ヒタルヲ以テ知ルヘシ

第二 選舉ノ手續ハ司法ニ屬シテ裁判セシメ議院ハ單ニ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ審査スルニ止マルコトハ彼ノ選舉ノ手續ニ關シテハ選舉法第二十六條第二十七條第五十二條第六十八條等ノ設ケアリテ或ハ始審裁判所或ハ控訴院ニ投票ノ手續又ハ效力ヲ判決セシメ判然立法司法ノ區別ヲ立テタルヨリ推測シ得ヘシ

第三 投票ノ有效無効ヲ審査セントスレハ勢ヒ其ノ事實ヲ求ムルカ爲ニ人民ヲ召喚シ又ハ議員ヲ派出シテ先ツ其ノ事實ノ眞偽ヲ審査セサルヘカラス然ルニ議院法第七十三條ニ「各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス」トアリテ議院ハ其ノ手續ヲ盡ス能ハス是レ衆議院ハ其ノ議員タル資格ノ有無ヲ法律ニ據リ審査スルノ職權アルモ事實ニ據リ投票ノ有效無効ヲ審査判定スルノ權限ナキ確證ナリ

第四 貴族院令第九條ニ「貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ判決ス」トアリテ議員ノ資格ト選舉トハ判然タル區別アリ而シテ議院法第七十八條ニハ單ニ衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付云々トアリ然ラハ衆議院ハ選舉ノ事ヲ判定スヘキ權限ナキコト明カナリ

第五 衆議院ニ其議院ノ選舉手續ニ關スル判定權アリトセハ貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則ノ如キ規定ナカルヘカラス然ルニ其ノ規定ナキハ其ノ權限ナキ一證ナリ

第六 選舉法第七十八條ニ當選訴訟ノ期限ヲ制限シテ當選人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内トセリ若シ選舉ノ有效無効ノコトヲ資格審査トシテ衆議院カ判定スルノ權限アリトスレハ何時ニテモ議員ヨリ異議ノ申立アルニ於テハ當選ノ有效無効ヲ判定シ得ヘキモノトナリ三十日ノ制限ハ實際冗文トナルヘシ立法者ノ立法ノ精神豈ニ如斯冗文ヲ設クルモノト解釋スルヲ得ンヤ若シ此ノ七十八條ヲ有效ナラシムル様解釋スレハ衆議院ニ於テ資格審査ヲ名トシ投票ノ有

效無効ヲ判定スヘキ權限ナキモノトセサルヘカラス

第七 憲法議院法選舉法等ノ大體ヨリ解釋スレハ選舉ノ手續ヲ履行スルハ行政部内ニ屬シ選舉手續ノ有效無効ヲ判決スルハ司法部内ニ屬シ正當ノ手續ヲ履ミ議員トナリタル後其ノ人ノ議員タル資格即チ身分ヲ具備スルヤ否及其ノ資格ヲ失ハサルヤ否ヲ審査スルノ權ハ議會其レ自身ニ屬シ三種各區分ヲ爲ササルヘカラス而シテ選舉ノ手續即チ投票ノ有效無効ヲ判決スルハ其ノ性質司法ノ權内ニ屬スヘキモノナリ

第八 選舉ノ手續ニ付議院ト裁判所ト牴觸シタル場合ニ如何ナル手續ヲ履ムヘキヤノ規定ナシ今若シ同一ナル選舉ノ手續ニ付裁判所モ衆議院モ判定ノ權限アリトセハ雙方ノ意見牴觸スル場合ニ如何トモスル能ハス蓋シ如斯不都合ナル規定ヲ立法官ニ於テ設ケタルモノト解釋スヘカラス果シテ然ラハ選舉ノ手續及投票ノ效力等ニ付裁判所カ判定ノ權限アリトスレハ衆議院ハ其ノ判定ノ權限ナキヲ推測シ得ヘシ

第九 投票有效無効ハ單ニ被選人タル議員ノ權利ノミニ關係スルモノト看做スヘカラス之ヲ投票シタル選舉人ノ選舉權ノ消長ニ影響スルコト大ナリ若シ衆議院ニ投票ノ有效無効ヲ判定スヘキ權限アリトスレハ衆議院ハ議院ノ外ニ於テ選舉人ノ權利ニ就キ裁判權ヲ有シ其ノ權利ヲ消長シ得ヘキモノトナルヘシ衆議院カ院外人ノ權利ヲ裁判スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサル

ナリ

(二) 赤松新右衛門君資格審査ノ件(第一回議會)

一 本案ハ明治二十三年七月一日茨城縣第四區衆議院議員選舉會ニ於テ選舉長ハ森隆介君ノ得點六百二十一點ヲ以テ最高點ヲ得タルモノト宣告シ同年七月六日同縣知事ハ其ノ當選確定ノ告示ヲ發シ尙同月十一日當選證ヲ森隆介君ニ付與シタリシカ是レヨリ先キ選舉長カ明治二十三年七月三日赤松新右衛門君ノ得點ニ係ル投票廿七點ヲ無効ト決定シ及投票一點ヲ他人ノ得點ニ計入シ合計廿八點ヲ減シタルニ付新井球三郎君外一名ハ其處分ニ付異議ヲ爲シ同月九日選舉長ヲ對手トシテ投票效力決定ノ件ヲ水戸始審裁判所下妻支廳ヘ起訴シ水戸始審裁判所下妻支廳ハ同月廿二日右廿八票ヲ以テ何レモ赤松新右衛門君ノ得點ト判定シタルヲ以テ赤松新右衛門君ノ得點ノ合計六百三十七點トナリ森隆介君ノ得點ニ勝サル十六點トナルノ結果ヲ生シタリ

一 選舉長長河田景雄君ハ明治廿三年七月廿四日前項ノ結果及赤松新右衛門君ノ當選人タルコトヲ茨城縣知事安田定則君ニ届出テ明治廿三年八月一日茨城縣知事安田定則君ハ一方ニ於テ森隆介君ノ當選ヲ取消シ一方ニ於テハ赤松新右衛門君ノ當選ヲ告示シ同人ヘ當選狀ヲ付與シタリ

一 森隆介君ハ前項ニ掲ケタル茨城縣知事ノ取消處分ヲ不法トシ明治二十三年八月日未詳東京控訴院ヘ不法告示取消ノ訴訟ヲ提起セリ然ルニ東京控訴院ハ茨城縣知事カ森隆介君當選告示ヲ取消シタルハ不法ニアラスト判決セリ

一 本案ニ於テ論争スル處ハ異議申立書及答辯書ニ審カナル如ク左ノ數項ニ外ナラス

第一 行政官カ一旦當選確定ノ告示ヲナシ當選狀ヲ付與シタル後他ニ高點者アリトシテ其處分ヲ取消スノ權限アリヤ否ヤ

第二 東京控訴院ニ於テ内閣ノ裁可ヲ經スシテ茨城縣知事ノ當選取消處分ヲ不當ニアラスト裁判セシハ正當ナリヤ否ヤ

第三 茨城縣知事ノ當選取消處分及東京控訴院ノ裁判ニ依リ其取消處分ヲ正當ナリト認メラレタルニ係ラス森隆介君ニ於テ當選狀ヲ有スル以上ハ當選訴訟ヲ以テ取消ササルニ非ラサレハ當選者ト認ム可キヤ否ヤ

以上ノ論點ヲ按スルニ第一第二ハ何レモ當選ノ手續ニ付キ行政官ノナシタル行政處分ノ當否司法官ノオシタル裁判ノ正當不正當ニ付キ争フモノ又ハ第三ハ行政司法ノ處分ヨリ及ホシテ當選ノ效力如何ヲ論スルモノニ止リ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ具備スルヤ否ヤニ付異議アルモノト認メサルニ付キ本院ハ之ヲ議員ノ資格トシテ議院法第七十八條ニ依

リ審査スヘキ限リニアラストス何トナレハ若シ夫レ議院法第七十八條ニ所謂議員ノ資格ナル文字中ニ正當ナル選舉手續有效ナル投票ノ多數等當選ニ關スル一切ノ事柄ヲ包含スルモノトシ本案争點ノ如キ行政官ノ行政處分ノ當否司法官ノ確定裁判ノ正當不正當迄ヲ審査スルニ至テハ單ニ議員而已ノ權利ニ關セス行政官ノ行政權限司法官ノ裁判ノ效力ヲ左右スルニ至リ三權分立ノ精神ニ背反スルニ至ル可ク立法ノ精神決シテ如斯基モノト解釋スルヲ得サレハナリ

## 一五 政府ノ覆牒其ノ他

### (一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日)

衆議院ハ明治二十四年度歲計豫算ニ對シ確定議ノ前ニ當リ憲法上ノ手續ニ隨ヒ政府ニ向ヒテ同意ヲ求メタリ

政府ハ之ヲ審査スルニ修正案ハ官制ヲ變革セントスルノ點ニ於テ豫算議定權ノ區域ヲ超越シタリ法律ノ結果ニ關スル歲出及契約ノ義務ニ屬スル歲出ヲ廢除削減セントシタルハ政府ノ同意セサル所ナルノミナラス法律ノ正文ヲ以テ規定シタル事件ヲ豫算ニ依リテ變革セントスルハ又其ノ分界ヲ誤マレリ

況ヤ削減セル金額ニ對シ政府ハ及フ丈ケ議院ノ議決ヲ敬重スルノ方向ヲ取ルコトヲ怠ラサルヘシト雖モ此ノ如キ豫算ノ變更ハ行政ノ責ニ當ルモノノ實施シ能ハサル所ナリ  
茲ニ議院ノ再考ヲ望ム

第四回議會 (明治二十六年一月十七日)

政府ハ憲法第六十七條ノ處出ニ關スル衆議院ノ要求ニ對シ不同意ヲ表シタルニ拘ラス今復タ政府ノ再考ヲ求メラレタルモ政府ハ斷シテ不同意ヲ表セサルヲ得ス

同議會 (同日)

憲法第六十七條ノ處出ニ關シ政府ハ既ニ憲法ノ明許セル權能ニ依リ不同意ヲ表シタルニ拘ラス政府ノ再考ヲ請求セラレタルニ因リ政府ハ再應不同意ヲ表シタルニ今復五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツヘシトノ決議通牒ニ接セリ政府ハ憲法保障ノ處出ニ付不同意ノ理由竝政府自ラ處置スルコトナキ理由ハ既ニ之ヲ辯明シタル以上政府ノ意見ハ終始一貫更ニ異動ナキ事ヲ斷言ス

(二) 書類提出ニ關スル決議ニ對スル政府ノ覆牒

第五十二回議會 (昭和二年一月二十日)

昭和二年一月二十日

內閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 粕谷義三殿

本月十九日付ヲ以テ朴準植及金子文子ニ對スル減刑奏請書類等提出ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ハ議院法第七十四條ニ依リ祕密ニ涉ルモノニ付御要求ニ應シ難ク候條此段及回答候

(三) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十三年十二月十八日)

昨日貴院ノ決議ニ依リ更ニ答辯御請求有之候處本大臣ニ於テハ既ニ昨日答辯シ盡キタリト信シ候ニ付御求メニ應シ難ク此段及回答候也

同議會 (明治二十四年二月三日)

政府ハ豫算問題ノ範圍外ニ於テ工商諸會社ニ對スル保護政策ノ方針如何ノ質問ハ議院法第四十八條ニ依リ主意書ヲ以テ質問アラシコトヲ望ム

政府ハ議院ト共ニ法律ノ明文ヲ循守スルノ義務ヲ有ス前陳ノ覆牒ニ及フモノナリ

第四回議會 (明治二十五年十二月七日)

二十五年十二月三日及同月五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ衆議院ニ出席スルノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セ大此段覆牒ニ及候也

第五回議會 (明治二十六年十二月十六日)

二十六年十二月十五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテ

モ各議院ニ出席ノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第六回(特別)議會 (明治二十七年五月二十八日)

鈴木充美君外二名提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對スル本大臣答辯ノ旨趣ハ曩ニ提出シタル答辯書ニ盡シタルコトヲ信スルヲ以テ更ニ議院ニ出席シテ辯明スルノ必要ヲ認メス

(四) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二日)

政府委員ハ其ノ權限内ニ於テ答辯シ又ハ答辯セサルノ自由ヲ有スル者ニ就キ政府ハ一ツノ政府委員カ議員ノ問ニ答辯セサルヲ以テ理由トシテ之ヲ更換スルコト能ハス

(五) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知

第一回議會 (明治二十三年十二月四日)

衆議院議員ニシテ會期前ニ逮捕セラレ開會ノ後仍勾留中ノ者ハ衆議院ノ許諾アルニ非サレハ引續キ勾留スルコトヲ得ス

右決議(議長ヨリ司法大臣ニ送付セリ)ニ對スル司法大臣ノ覆牒

本大臣ハ憲法ノ明文ニ從ヒ司法權ノ施行ヲ爲サシムルノ外已ニ着手シタル刑事訴追ヲ停止セシムルノ權ヲ有セス從テ他ノ權勢ヲ諾否ニ因リ司法權ノ必要ナル處分ヲ張弛セシムルコト能ハス故ニ議會ノ議決ニ對シテ何等ノ關係ヲ有スルコトナシ

召集ノ前日右勾留中ノ議員ニ對スル通知

衆議院議員當選者森時之助ハ當今委託物費消被告事件ニ付東京地方裁判所ニ於テ審問勾留中ニ有之候依ツテ此段及通知候也

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣 伯爵 山田 顯 義

衆議院書記官長 曾 爾 荒 助 殿

同上議員刑ノ宣告ヲ受ケタルトキノ通知

去月二十四日付衆議院書記官長宛ヲ以テ及御通牒置候森時之助被告事件ハ本日落著依託金費消罪ニシテ刑法第三百九十五條ニ依リ重禁錮一箇年ノ刑ニ處セラレ候此段及御通知候也

明治二十三年十二月四日

司法大臣 伯爵 山 田 顯 義

衆議院議長 中 島 信 行 殿

一五 政府ノ覆牒其ノ他



(六) 内閣總辭職及休會ニ關スル内閣書記官長ヨリノ申出

昭和十二年一月二十三日

内閣書記官長 藤 沼 庄 平

衆議院書記官長 田 口 弼 一 殿

本日内閣總辭職ニ決シ廣田内閣總理大臣ハ辭表ヲ取纏メ閣下ニ捧呈致シ候條此段及御通知候也  
追而第三十回帝國議會ノ先例ニ依レバ停會滿了ノ翌日休會ヲ決議セラレ新内閣成立後迄休會ヲ  
續ケラレタル次第モ有之今回モ右先例ニ準ジ御取扱方御配慮相煩度

昭和十五年一月十七日

内閣書記官長 石 渡 莊 太 郎

衆議院書記官長 大 木 操 殿

今期第七十五回帝國議會衆議院ハ來ル一月二十日迄休會ノ處今回内閣更迭ノ結果新内閣ニ於テ議  
會再開ニ當リ提出案其他諸準備ヲ要スル次第モ有之來ル一月三十日迄休會セラレルコトニ御取扱  
方御配慮相煩度

(七) 議事進捗ニ關スル申合並政府ニ要望スヘキ事項ニ對スル政府ノ回答

第七十四回議會 (昭和十四年一月二十一日)

内閣衆甲第一號

昭和十四年一月二十一日

内閣總理大臣 男爵 平 沼 騏 一 郎

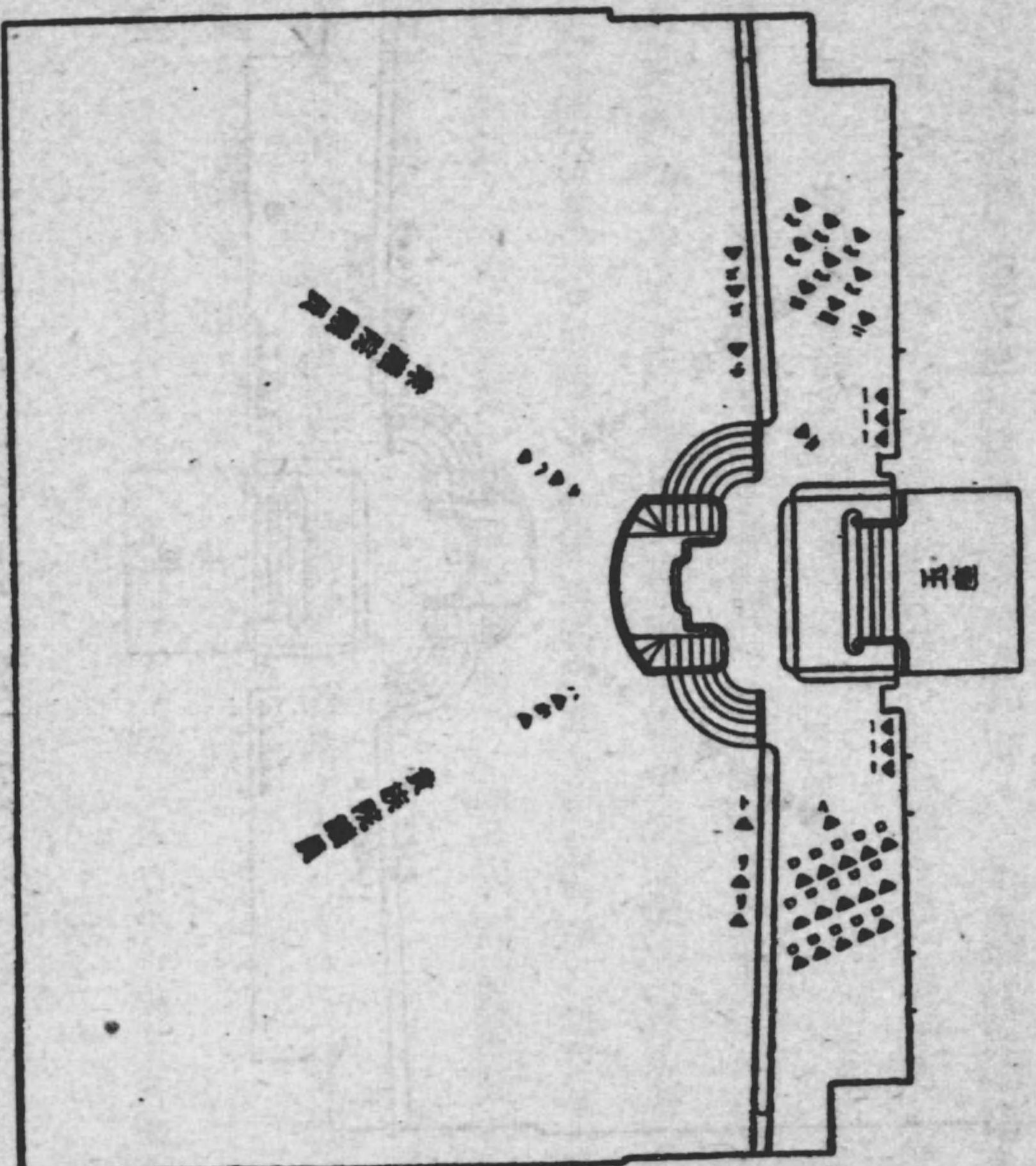
衆議院議長 小 山 松 壽 殿

一月二十一日貴院各派協議會ニ於テ議會振肅並能率増進ノ件ニ付御協議ノ結果御申合セノ趣了承  
政府ニ對スル御要望ニ付テハ努メテ貴意ニ副フ様致度右及回答候也

### 一六 開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章

(一) 開院式及閉院式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次)

### 開院式式場圖



- 一 親王
- 二 宮内大臣
- 三 式部長官
- 四 侍從
- 五 侍從武官長
- 六 侍從武官

一六 開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章

(備考)

- 1 内閣總理大臣
- 2 樞密院議長
- 3 國務大臣
- 4 樞密院副議長
- 5 樞密顧問官
- 6 貴族院議長
- 7 貴族院副議長
- 8 貴族院書記官長
- 9 貴族院書記官
- 10 衆議院議長
- 11 衆議院副議長
- 12 衆議院書記官長
- 13 衆議院書記官

三百九十七



政本黨ノ全部、又新會及戊申俱樂部一部ノ合同ニ依リ立憲國民黨ヲ組織セラレタルモ其ノ位置ハ變更セズ

第二十七回議會ニ於テハ無所屬ノ位置左端立憲國民黨ノ後列ニ移リ又新會解散ノ爲其ノ部員ノ一部ハ立憲國民黨及中央俱樂部ニ、他ハ無所屬ニ入レリ即チ同會期ニ於テハ立憲政友會ハ中央及右端ノ一部、中央俱樂部ハ右端ノ一部、立憲國民黨及無所屬ハ左端ヲ占ム

第二十八回及第二十九回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第三十回議會ニ於テハ召集ニ際シ無所屬ノ有志同志會ヲ組織シ會期ノ前半ニ於テ國民黨ノ一半及中央俱樂部ハ無所屬團(純無所屬ト別ツ)トナリ會期ノ央ヨリ議席ノ位置ヲ變更シテ立憲國民黨ヲ左側、立憲政友會ヲ中央、無所屬ハ右側、同志會ヲ立憲政友會ト無所屬トノ間トシ又會期ノ後半ニ於テ立憲政友會ノ一部政友俱樂部ヲ組織セルヲ以テ其ノ位置ヲ立憲國民黨ト立憲政友會トノ間トセリ同志會ハ後ニ亦樂會ト改稱セララル

第三十一回議會ニ於テハ會期ノ始ニ於テ無所屬團ハ立憲同志會ヲ組織シ又亦樂會、政友俱樂部合同シテ假ニ亦政會ト名ツケ次テ中正會ト改ム、立憲同志會、無所屬及中正會ノ位置ハ前會期ニ同シ  
第三十二回(臨時)、第三十三回(臨時)、第三十四回(臨時)、第三十五回議會異動ナシ

第三十六回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲同志會、左側ヲ立憲國民黨、中央ト左側トノ間ヲ立憲政

友會、右側ヲ公友俱樂部、中央ト右側トノ間ヲ中正會所屬議員ノ議席ト爲セリ

第三十七回議會ハ前議會ニ同シ

第三十八回議會ニ於テハ中正會解散シ、公友俱樂部ハ公正會ト改稱シ、立憲同志會ハ中正會及公友俱樂部ノ一部ト合シテ憲政會ト改稱セシ外議席ニ於テ前議會ト變ルコトナシ

第三十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側ヲ立憲國民黨、右側ヲ憲政會、中央ト左側トノ間ノ上部ヲ維新會下部ヲ無所屬議員ノ議席ト爲セリ

第四十回議會ニ於テハ維新會ハ無所屬ノ議員ニ合シテ新政會ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ只議會ノ半ニ於テ新政會ノ一部分レテ清和俱樂部ヲ組織シ其ノ議席ハ中央ト左側トノ間ノ上部右側ト爲セリ

第四十一回議會ニ於テハ清和俱樂部ヲ正交俱樂部ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ

第四十二回議會ハ前議會ニ同シ

第四十三回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側下部ヲ無所屬俱樂部(交渉團體ト認メス)及無所屬トシ上部左端ヲ立憲國民黨、左端ト中央部ノ間上部ヲ庚申俱樂部、右側ヲ憲政會ノ議席ト爲セリ

第四十四回議會及第四十五回議會ハ前議會ニ同シ

第四十六回議會ニ於テハ立憲國民黨本部及無所屬俱樂部、無所屬ノ各一部ヲ以テ革新俱樂部ヲ組織シタルモ議席ニ變動ナシ

第四十七回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第四十八回議會ニ於テハ立憲政友會ノ大半去リテ政友本黨ヲ組織セル結果中央線ノ右側ヲ憲政會、其ノ右側ヲ政友本黨トシ、中央線ノ左側ヲ立憲政友會、其ノ左上部ヲ革新俱樂部、其ノ左端上部ヲ庚申俱樂部トシ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第四十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ憲政會、右側ヲ政友本黨、左側ヲ立憲政友會トシ政友會ノ左上部ヲ中正俱樂部、左端上部ヲ革新俱樂部、下部ヲ實業同志會及無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十回議會ハ前議會ニ同シ

第五十一回議會ニ於テハ中央ヲ憲政會、右側ヲ政友本黨、左側ヲ立憲政友會トシ立憲政友會ノ左上部ヲ新正俱樂部、左端上部ヲ實業同志會トシ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十二回議會ハ前議會ニ同シ

第五十三回(臨時)議會ニ於テハ憲政會及政友本黨所屬議員ヲ以テ新黨俱樂部ヲ組織セル結果右側ヲ新黨俱樂部左側ヲ立憲政友會トシ立憲政友會ノ左上部ヲ新正俱樂部、下部ヲ無所屬トシ其ノ中間ヲ新黨俱樂部ニ加入セサル政友本黨所屬議員ヲ以テ組織セル昭和俱樂部(交渉團體ト認メ

ス)トシ左端上部ヲ實業同志會ノ議席ト爲セリ

第五十四回議會ニ於テハ中央ヨリ右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ而シテ其ノ左端上部ヲ新正俱樂部及實業同志會、其ノ下ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十五回(特別)議會ニ於テハ中央ヨリ右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ而シテ立憲政友會ノ左端上部ヲ明政會、無產黨議員團、下部ヲ無所屬トシ其ノ中間ヲ實業同志會、革新黨ノ議席ト爲セリ

第五十六回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ新黨俱樂部トシテ其ノ左端上部ヲ第一控室會、下部ヲ無所屬及關員ノ議席ト爲セリ

第五十七回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ立憲民政黨トシ左側上部ヲ第一控室會、其ノ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲シ而シテ關員ハ左右兩端ニ之ヲ置ク

第五十八回(特別)議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ其ノ左端ヲ第一控室、無所屬及關員ノ議席ト爲セリ

第五十九回議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ其ノ左端上部ヲ第一控室、下部ヲ無所屬及關員ノ議席ト爲セリ

第六十回議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ其ノ左側ヲ第一控室其ノ

下部左端ヲ無所屬ノ議席ト爲シ而シテ關員ハ左右兩端ニ之ヲ置ク

第六十一回(臨時)議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲政友會、左側ヲ立憲民政黨トシ其ノ左側ヲ第一控室及無所屬ノ議席ト爲セリ

第六十二回(臨時)議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲政友會、左側ヲ立憲民政黨トシ其ノ左側ヲ第一控室及無所屬ノ議席ト爲セリ

第六十三回(臨時)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟準備委員會、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ第一控室其ノ下部ヲ關員ノ議席ト爲セリ

第六十四回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ第一控室其ノ下部ヲ關員ノ議席ト爲セリ

第六十五回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ第一控室トス而シテ第一控室ノ下部及國民同盟ノ上部ヲ關員ノ議席ト爲セリ

第六十六回(臨時)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ第一控室トス而シテ第一控室ノ下部及國民同盟、政友會右端ノ下部ヲ關員ノ議席ト爲セリ

第六十七回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ第一控室、中部左隔ヲ無所屬トス而シテ第一控室、無所屬ノ下部及國民同盟、政友會右端ノ下部ヲ

關員ノ議席ト爲セリ

第六十八回議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、右側ヲ國民同盟、左側ヲ立憲民政黨トシ左端上部ヲ昭和會、中部ヲ無所屬室、下部ヲ無所屬トス而シテ立憲民政黨、立憲政友會及國民同盟ノ下部ヲ關員ノ議席ト爲セリ

第六十九回(特別)議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ立憲民政黨ノ右側ヲ昭和會、第一控室ノ順トシ、立憲政友會ノ左側上部ヲ國民同盟、下部ヲ第二控室トシ、國民同盟ノ左側第二控室ノ左隔上部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第七十回議會ニ於テハ中央及右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ立憲民政黨ノ右側ヲ昭和會、第一控室ノ順トシ、立憲政友會ノ左側上部ヲ國民同盟、中部ヲ第二控室、下部ヲ東方會トシ國民同盟ノ左側第二控室ノ左隔上部ヲ無所屬及關員ノ議席ト爲セリ

第七十一回(特別)議會ニ於テハ中央ヨリ右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ、立憲民政黨ノ右側上部一隔ヲ第二控室トシ、第二控室及立憲民政黨ノ右側ヲ第一議員俱樂部トシ、又立憲政友會ノ左側上部ヲ無所屬、東方會ノ順トシ、東方會及政友會ノ左側ヲ社會大衆黨ノ議席ト爲セリ

第七十二回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第七十三回議會ニ於テハ中央ヨリ右側ヲ立憲民政黨、左側ヲ立憲政友會トシ、立憲民政黨ノ右側上

部一隅ヲ第二控室トシ、第二控室及立憲民政黨ノ右側ヲ第一議員俱樂部トシ又立憲政友會ノ左側上部ヲ無所屬、闕員、東方會ノ順トシ、東方會及政友會ノ左側ヲ社會大衆黨ノ議席ト爲セリ  
第七十四回議會ハ前議會ニ同シ

第七十五回議會ニ於テハ中央ヲ立憲民政黨、其ノ右側ヲ立憲政友會(七〇人)、時局同志會ノ順トシ、時局同志會ノ右側上部一隅ヲ闕員トシ、時局同志會ノ中部右側及下部ヲ立憲政友會(一二人)トス又立憲民政黨ノ左側ヲ立憲政友會(九八人)、社會大衆黨、第一議員俱樂部、闕員ノ順トシ、第一議員俱樂部ノ上部一隅ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第七十六回議會ニ於ケル議席ハ左端下部ヨリ順次北海道ヨリ九州ニ至ル地方別ニ依ル道府縣順(闕員ハ其ノ府縣内ニ置ク)ニ依リ之ヲ定メタルモ年末年始休會明ノ前日(昭和十六年一月二十日)議席ヲ變更シテ議員俱樂部役員ノ議席ハ之ヲ中央ニ集メ役員以外ノ議席ハ前記ノ通り道府縣順トナシ尙議員俱樂部ニ屬セサル議員ノ議席ハ議長席ノ左端最前列ニ置ケリ

第七十七回(臨時)議會ニ於テハ中央ヲ翼贊議員同盟、右側上部ヲ同交會下部ヲ闕員トシ左側上部ヲ興亞議員同盟、同人俱樂部トシ、左端上部ヲ議員俱樂部下部ヲ無所屬及闕員ノ議席ト爲セリ

第七十八回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第七十九回議會ニ於テハ中央ヲ翼贊議員同盟、右側上部ヲ同交會トシ、翼贊議員同盟及同交會ノ右

側ヲ興亞議員同盟トシ又左側上部ヲ第一控室、中間ヲ無所屬、左端上部ヲ議員俱樂部下部及翼贊議員同盟、興亞議員同盟ノ前列ヲ闕員ノ議席ト爲セリ

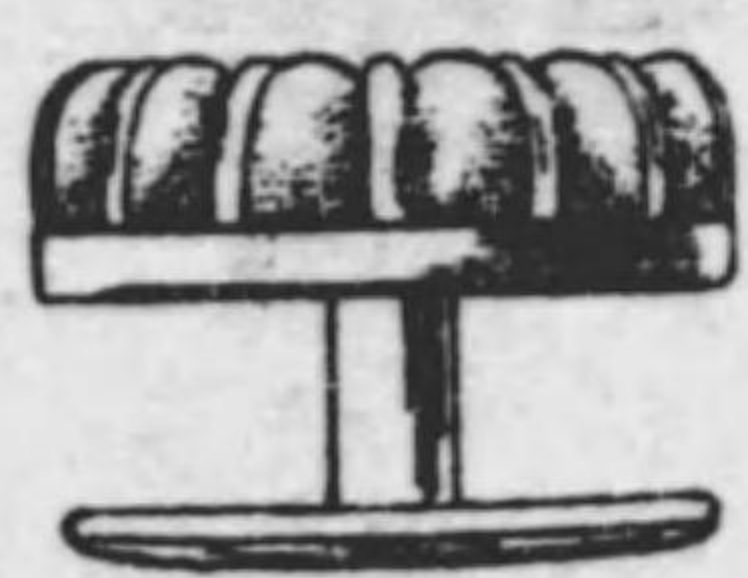
第八十回(臨時)議會ニ於テハ中央ヲ翼贊政治會役員ノ議席トシ役員以外ノ議席ハ左端下部ヨリ順次北海道ヨリ九州ニ至ル地方別ニ依ル道府縣順トシ右端上部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

### (三) 議員及事務局職員其ノ他ノ徽章

#### ○議員徽章

金屬製、銀色(第八十回議會改定)

側面



○事務局職員徽章(勅託、備人徽章ノ掲載ハ之ヲ略ス)

高等官徽章(第五十七回)

緑色本絹糸ヲ以テ  
刈上ケ心金モール

常職員徽章(第七十四回)

銀製菊五葉金蔭菊  
ニ紫ヲ肉ニテ現ス

臨時職員徽章(第七十四回)

緑七寶菊五葉白蔭菊  
ニ紫ヲ黒ニテ現ス



○政府委員及各官廳職員徽章

政府委員徽章(第十九回)

赤色本絹糸ヲ以テ  
刈上ケ心金モール

秘書官徽章(第四十九回)

緑色本絹糸ヲ以テ  
刈上ケ心金モール

高等官徽章(第七十四回)

黄色本絹糸ヲ以テ刈上ケ中央  
白蔭菊中ニ紫ヲ金ニテ現ス



○官吏入場徽章、新聞通信記者徽章、前議員徽章及其ノ他ノ徽章ハ屢々變更セララルルコトアルヲ以テ  
掲載ヲ略ス

昭和十七年十二月十日印刷  
昭和十七年十二月十五日發行

麹町區永田町

衆議院事務局

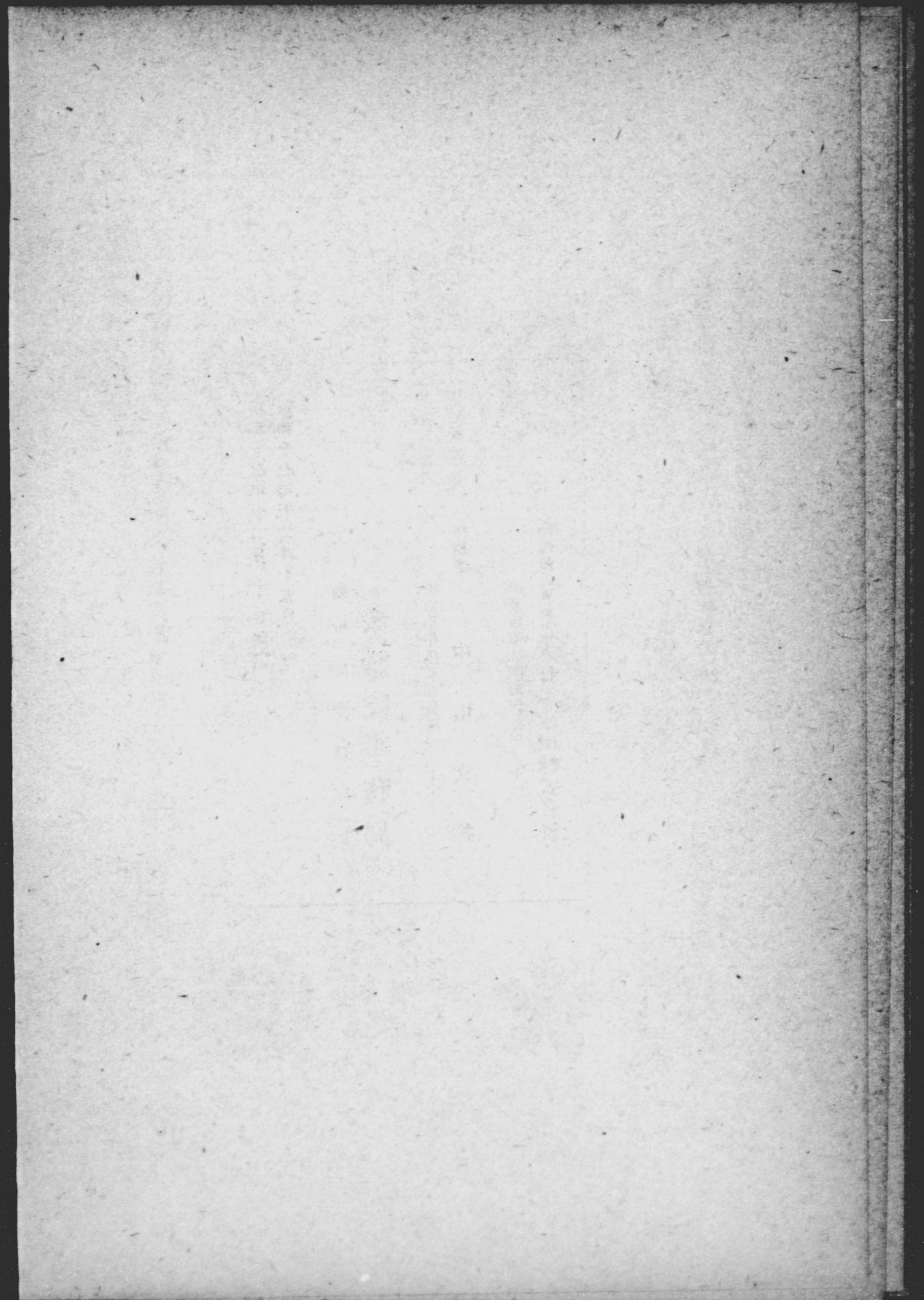
東京市牛込區加賀町一ノ十二

印刷者 中山文雄

東京市牛込區加賀町一ノ十二

印刷所(東京一)大日本印刷株式會社





4.3  
51

